

全國坑夫組合叢書

□ 既 刊

第一篇 法學士 佐野 學編 鑛山の過去現在及將來 實價二十員
 第二篇 法學士 河井榮藏編 我國坑夫の行くべき道 實價廿五員

□ 續 刊

第三篇 法學士 石渡春雄編 我國坑夫の權利義務
 第四篇 法學博士 吉野作造編 勞働運動と民本主義
 第五篇 法學博士 今井嘉幸編 勞働運動と普通選舉
 第六篇 本部長 坂田高島信次編 飯 場 制 度 論

序

我が全國坑夫組合は成立以來未だ半年ならざるに其勢は燎原を燒くが如く、全國に多大の贊成者を見出しつゝある。是れ坑夫諸君の自覺の然らしむる處であつて我々同志の非常の愉快とする處である。本論文は坑夫階級の將來と其勞働運動とに關する意見を述べたものである。我々は此種に於て更に坑夫階級の自覺、奮闘、努力を切望する次第である。

大正九年二月一日

於本部横上

河井榮藏